

千葉県国土利用計画地方審議会調査検討部会 議事概要

1 日 時 平成21年2月24日(火) 午後1時30分～3時30分

2 場 所 きぼーる 15階 第4会議室
(千葉市中央区中央4-5-1)

3 出席者(委員)

高橋(洋)部会長、親泊委員、佐藤委員、宮脇委員、山田(多)委員、山田(利)委員

4 議 事

1) 開 会

2) 部会長の選出

高橋(洋)委員を選出。

3) 議 事

県土利用のモニタリング制度及び計画評価制度について

- ・事務局より概要や県の考え方などについて説明し、意見交換を行った。
- ・次回以降も、引き続き、意見交換を行うこととした。

4) 閉 会

5) 主な発言内容(順不同)

アンケートや特別な調査の実施、質的な指標の設定を考えているのか。

(事務局)

必要があれば、質的なアンケートも可能だと思う。

10年間でPDCAサイクルは2回でよいのか。

(事務局)

2回のPDCAサイクルの途中に行う、モニタリング結果を関係課に知らせるなどにより、何らかの改善につなげていきたい。

たとえば農業・林業が振るわないというのは、生産物の売上価格や林業農家の収入などがどうなっているからなのかなど、原因と結果がリンクするような指標をとって、ストーリーをつくるのはどうか。

(事務局)

「原因・課題 解決策 結果」の流れをリンクさせる点については、国土利用計画の中で、原因・課題を記述している。また、今考えられる原因は、なるべく載せていきたい。

(部会長)

因果関係と解決策は、出来るだけ書いた方がよい。しかし、審議会や国土利用計画の中ですべての処方箋を書くのは難しい。国土利用計画をさらに具体的にするのは、県の原課や市町村に任せておいて、資料3ページの表に書かれている因果関係をきちんと書いて、表の読み方が分かるようにしていく。

面的にメッシュを切ったり、定点分析を行ったりして、モニタリングを行い、その結果を、毎年、審議会に報告するのはどうか。

コンプライアンス(順法性チェック)を入れるのはどうか。

(事務局)

逆にいえば、法令違反の状況がどうかということになる。非常に難しいとは思いますが、担当課の意見を聴きながら、指標にできるかどうか勉強したい。

モニタリングを評価する主役は「県民」であるので、県民からの意見をうまく吸い上げて、原因特定から評価に繋がるような仕組みもあってよい。また、タイムスパンについては、分野ごとにズラしてスタートしながら、ズラして結果を出した方がやりやすい。

(事務局)

県では、政策評価を毎年実施しているため、一例として、モニタリングは5年に1回程度がよいのではないかと提案をした。いろいろご提案をいただきたい。

今年のオバマの就任演説では「新しい責任の時代(A new era of responsibility)」とあり、昔のケネディの就任演説でも「国が何をしてくれるかではなく、あなたが国のために何ができるかを問おう」とあった。「県民が県土を守るために何をやっていただけるかを問いながら、一緒に守っていきましょう」というような形の評価制度にしていくとよい。

環境影響評価委員会など他の評価委員会でも、開発の事前書類に対してコメントを出しているので、これらとの整合性を考えてほしい。

近くで起こった変化を言うことができるのは住民ではないか。環境省による緑の国勢調査で非常に効果が上がったことがある。

「モニタリング(monitoring)」を日本語に訳すと、「測定」と「評価」のいずれも考えられるが、環境(社会系)分野では、「測定」は数値の増減だけだが、「評価」は価値観も加わる。どういう価値観に立って県が動いているのかを県民に示すことによって、県民が、たとえば緑の大切さを「気づく」ことが重要。面積の増減+ の意味を評価制度に持たせるべき。

土地の状況変化などの原因を特定できるよう、場所を抽出してモニタリングするのがよい。また、土地利用の変化を空間的に見えるようにした上で、抜本的な支援策と絡めながら、土地利用を明るい方向へ向かわせることが、今求められているのだと思う。

国土利用計画では千葉県を6つのゾーンごとに記述しているので、県土のモニタリングでも「6つのゾーン別」に行ってもよいのではないか。

(事務局)

国土利用計画では「県土の利用目的に応じた区分」ごとの目標を挙げているので、明確性・やりやすさの点で「区分別」のモニタリングがよいのではないかと考えていた。

モニタリングの趣旨は、やはり、「詳細を測定・分析する」という意味だと思う。また、どのような打開策をとるか決定していくためには、原因を究明することが必要である。そのためには、マクロ的に全域の数値で分析するだけでなく、具体的に場所をピックアップして詳細に測定していくような調査もなければならない。

(事務局)

「マクロ的でなく、ある程度象徴的な地域を捉える」とのご提案だが、県内は地域によって状況が異なるので、区分次第では、ゾーン別のモニタリングとミクロ的なモニタリングをうまくかけ合わせて、工夫できる余地があると思う。

(部会長)

特に具体的な地区について調べた方がよい問題が出てきた場合は、できる範囲でやっていくこととする。

また、議論をしている中で、ミクロ的な検証を提言することになった場合は、将来にわたって、やっていく。

県民が参加しながら、「千葉県は、未来に向けて、こういう土地を残していきたい」というものがあつた方がよい。都市部の住民には南房総の状況はよく見えないものなので、やはり、住んでいる土地の中での意見を、県民が参加して、発言する場を持っていくとよい。

事務局の方で、非常にたくさんの指標を集めたということなので、そういう指標を整理していただき、審議会やこの部会で提示していただきたい。ただ、数字だけでは、県民にも理解しがたいと思うので、分析を深めていただき、「こういう問題がある。それを示すのがこの指標である。県としては、こういう方向に持っていきたい。」ということ、県民に示す形ができればよいと思う。

資料3ページに「県民、市町村アンケート」とあるが、途中で、市町村などにアンケートやヒアリングをすることもあり得るということか？

(事務局)

関係の深い市町村などへ出向くなり、来ていただくなりして、ヒアリングをすることもできると思う。

「評価シート」(資料3ページ)の区分だが、公園緑地等が「その他」に入っている。「その他」だと、空き地などの土地と混ざってしまい、よく見えなくなる。少なくとも、公共施設系の緑地とゴルフ場などを区分して、それらもモニタリングすべきだと思う。

県土のモニタリング制度は、県土の状況を県民に実況中継するだけの制度なのか、あるいは、県土の自然をこれ以上減少させないために何とかしたいという評価制度なのか、確認したい。このような委員会ではなくても、県民の目安箱を置いて、すぐに対処するような委員会の方が、意味があるのではないかとも思う。

(事務局)

県として、一つには、国土利用計画の利用区分ごとの規模の目標については、きちんとモニターしていかなければならない。もう一つには、計画目標達成に向けての解決策について、部会からご指導・アドバイスをいただきたい。

途上国の国立公園の調査に行ったときに、監視をする人と問題を起こす人が一緒になって、やっていることもあった。せっかくモニターしていても、同じ県の中でも、別の課に問題を起こす案件がある場合、どのようにするのか？

(部会長)

具体的にいえば、農地・森林・都市・環境などの部門の人たちが一堂に会して、議論をしていく中で、「結局、千葉県を目指すのは何か」ということを確認することから始めないといけない。そこを総合的にうまくやる方法が制度としてないので、多分、ここ(国土利用計画地方審議会)でやるしかないのではないかと。

(事務局)

昨年度、国土利用計画が出来上がったので、今度、それを基本とした土地利用基本計画を策定することになっている。それを進める上で、いろいろな所属が入ったワーキンググループをつくる作業を進めているので、モニタリング制度なども、そういうところで検討することも可能と思う。

千葉県の厳しい財政の中で言うのも何だが、対立するセクションと一緒に海外の成功事例などを見に行ったり、研修をしたりすることを、ぜひしていただきたい。

現行の制度についても、土地利用に関して見直せるところは見直してほしい。たとえば、市街化調整区域でも、50戸の建物が連たんすると開発できることになっている。これは県がつくっている制度だが、それが農地に染み出したりしていると、土地利用上おかしい。

(部会長)事務局には、今日の議論を整理してもらい、出来そうなもの・出来ないものを区分し、出来ないものについては、その理由や「次にどうするか」を、次回の部会で示していただきたい。そういうことでよいか？

(事務局)

ご提案だが、今日の意見を踏まえて、もう少し踏み込んだ「たたき台」をつくらせていただきたい。

また、全体のスケジュールだが、資料の中では4回しか部会を開かないようになっているが、話の進み具合によっては、もう少し回数を重ねていく必要も生じるかもしれない。

(部会長)

そうすると、次回は、今日の議論を踏まえて、「県としてこんなふうにとまとめたい」というもので、もう少し具体的な案を出していただくこととする。何回か議論した方がよさそうである。

また、次回部会からは、「こういうような議論があって、これはこのように対応した」というものを、箇条書きに整理して、最初に示してもらい、それから次の議題に入るようにしていただきたい。

以上